

# 1液ファインDFルーフ

更なる高みを目指して辿り着いた1液最高峰の実力!

## 1.強じんな塗膜

優れた密着性と滑雪性

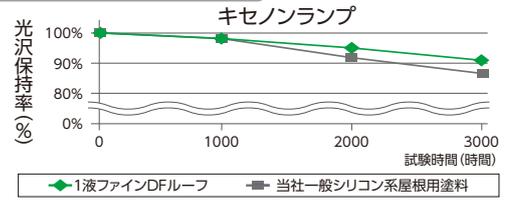
「1液ファインDFルーフ」は、従来塗料と比べ、耐候性や耐水性に優れた強じんな塗膜を形成するとともに、密着性にも優れています。さらに優れた滑雪性も長期間保ちます。

## 2.熱/紫外線に強い

塗りたての美しさを保つ耐候性をパワーアップ

屋根に対する日射量は、もっとも日当たりの良い南側壁面と比較して2倍以上(年間平均)、とくに日射しの強い夏は6倍以上にも達します。(ダメージを大きく与える紫外線も日射量に応じて多くなります。)さらに鋼板屋根の場合は真夏で約50℃以上にもなります。こうした過酷な条件を与える太陽光、紫外線から屋根をまもります。

### 耐候性試験比較



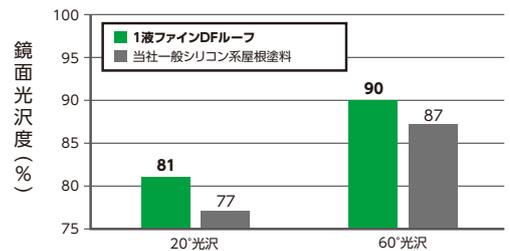
※当社社内試験結果による

## 3.高い光沢感

高級感のある美しい仕上がり

光沢が優れた塗膜は、特に晴れた日などはきらきらとした外観を持ちます。しかし、塗膜の劣化が進行していくと光沢が低下します。このように塗膜の劣化を判断する目安として光沢感の維持は重要です。一般的に、光沢は平らな面であるほど、鏡面に近くなり、光沢度が増しますが、ざらざらな表面であると、拡散反射が起こり、光沢度は低下します。「1液ファインDFルーフ」の塗膜は特殊技術により高い光沢感を得られ、また高耐候であることから、長期に渡り光沢を維持することができます。

### 光沢比較



7×15cmアルミ板に直接はけで塗装。  
養生23℃×1W後に、光沢測定を行った。

※当社社内試験結果による

## 4.便利な1液タイプ

硬化剤を入れる手間や残ネタのロスが少ない  
便利な1液タイプです。

## 5.幅広い下地適性

鋼板屋根だけでなく、住宅用化粧スレート  
屋根や波形スレート屋根にも塗装可能です。

### 塗り板での反射度チェック

塗り板比較では1液ファインDFルーフの塗膜面の蛍光灯の  
映り込を確認、鏡面のような高反射(映り込み)がみられた。

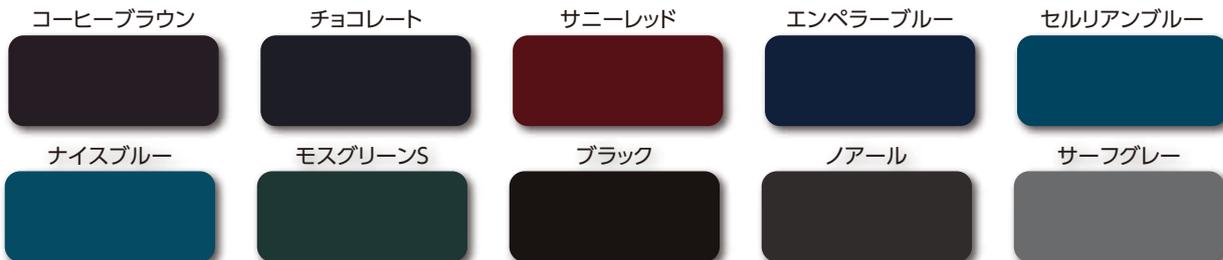


1液ファインDFルーフ      当社一般シリコン系屋根用塗料  
※ガラス板にコーヒーブラウンを平滑に塗装

## 基本カラー10色

## 個性を引き出すカラーバリエーション

ベーシックカラー10色からお好みの色をお選びいただけます。



※色は印刷のため近似色です。※色相については、ルーフペイントシリーズ色見本帳をご用意しておりますので、そちらをご覧ください。

# 塗装仕様

## 下塗り塗料を選ぶことで鋼板・スレート屋根の両方に対応可能です。

### 標準塗装仕様 (塗り替え)

■ 鋼板屋根・トタン屋根 塗り替え							
工程	製品名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	彫れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤブラシ、ケレン棒などで除去する。溶接部のさびは、電動工具で除去する。油脂分、水分は溶剤のみを行い清浄な面とする。						
下塗り	ニッペハイボンフルーフデクロ または ニッペ1液ハイボンファインデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	塗料用 シンナーA	5~10	はけ、ウルローラー
上塗り	1液ファインDFルーフ	2	0.12~0.14	2時間以上	塗料用 シンナーA	5~15	はけ、ウルローラー エアレススプレー

注) 上記の数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注) 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

\* 下塗りにはハイボンファインプライマーIIやニッペ エスパワーンエースもご使用いただけます。

■ 住宅化粧スレート屋根、波形スレート屋根 塗り替え							
工程	製品名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	ごみ、ほこり、かび、こけ、藻など、付着物は入念に除去する。素地に近づけ 9.8MPa (=100kg/cm <sup>2</sup> ) 以上の高圧水流が望ましいが、高圧水流ができない場合はホースで水を流しながら金属ワイヤブラシなどを用いて清掃する。水洗い後は翌日まで乾燥させる。旧塗膜がある場合は、浮いたり、割れたり、彫れたりしている劣化塗膜、露出している着色セメント層を入念に除去する。十分に付着している塗膜は残してよい。						
下塗り	2液 ニッペファイン浸透遮膜シーラー	1~2 *1	0.16~0.20	4時間以上7日以内 *2 *3	無希釈 *4	-	はけ、ウルローラー エアレススプレー
	2液 ニッペファイン浸透シーラー(透明・ホワイト)		0.15~0.30	4時間以上5日以内 *2 *3			
	1液 ニッペ1液ベストシーラー		0.15~0.30	3時間以上7日以内 *2 *3			
	1液 ファインパーフェクトベスト強化シーラー		0.15~0.30	4時間以上5日以内 *2 *3			
上塗り	1液ファインDFルーフ	2	0.15~0.18	2時間以上	塗料用 シンナーA	5~15	はけ、ウルローラー エアレススプレー
縁切り	水切り部で化粧スレートの上下の重なり部分が塗料でつまっている箇所は縁切りを行う。						

注) 上記の数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注) 旧塗膜は、健全な状態であることを想定していません。

注) 下塗りにはファインパーフェクトシーラーもご使用いただけます。シーラーの適用についての詳細な仕様については、別途「スレート屋根用塗装シリーズ」のカタログをご覧ください。

\*1 シーラーは、ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗付してください。

\*2 「ニッペ1液ベストシーラー」「ファインパーフェクトベスト強化シーラー」「ニッペファイン浸透シーラー」「ニッペファイン浸透遮膜シーラー」は、高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

\*3 吸いこみが少ない素地や下地の場合は、乾燥不足による縮みや彫れが起こる可能性がありますので、各工程の乾燥時間は十分長めにとってください。

(ただし各下塗りの塗り重ね乾燥時間を守ってください。)

\*4 少しでも希釈すると付着性が低下します。

製品体系	
塗料名	1液ファインDFルーフ
系統	ターペン可溶1液反応硬化形フッ素樹脂系屋根用塗料
容量	14kg
色相	10色
つや	つや有り

\*色相については、色見本帳をご用意していますのでご覧ください。

### 適用下地

- 鋼板屋根 ● トタン屋根 ● 住宅用化粧スレート屋根 ● 波形スレート屋根 ● 戸建住宅 ● 各種工場 ● 体育館 ● 公共施設 の屋根面

### 施工上の注意事項 (詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 水切り部で屋根材の重なり部分に塗料が付着し詰まっていると、漏水の原因になります。皮すき、ケレン棒、カッターなどを用いて溜まった塗料を除去する縁切りを行ってください。
- 水洗い後は、1日以上乾燥させてください。また素地表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。(光沢低下、彫れ、割れ、はく離の原因となります。)
- 下地調整が不十分だと塗膜は剥離の原因となったり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えでは必ず素地に近づけ 9.8MPa (=100kgf/cm<sup>2</sup>) 以上の高圧水流が金属ワイヤブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。
- なみがたトタンの山の部分やトタンの継ぎ目、折り曲げ部分は、膜が薄くなりがちです。先に拾い塗りのながれを長持ちさせることです。
- 昼夜の温度差が激しい時期や、山間部など夜露の早く降りる地域では、結露によるつや抜け現象が起こりやすいため、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。塗装後早期に結露の影響を受けると光沢低下や彫れ、割れ、はく離の原因になります。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 経年劣化や下地の劣化が著しい場合は、「ニッペファイン浸透遮膜シーラー」、「ファインパーフェクトベスト強化シーラー」をご使用ください。
- ファインパーフェクトベスト強化シーラーをご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により旧塗膜を傷め、溶剤彫れや縮みなどの異常が発生することがあります。試し塗りなどで確認のうえ、本施工を行ってください。
- 粘土瓦(いびし瓦、釉薬瓦など)には使用しないでください。なお、洋風コンクリート瓦については、最寄りの営業所にご相談ください。
- 下塗り乾燥後、ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれがある場合は、再度下塗りを塗付してください。
- トタン素地が見えている所、さびの生じている所はケレン後、必ずさび止め塗料を塗装してください。使用できるさび止め塗料については、各塗装仕様書をご確認ください。
- 硫酸カルシウムさび止め(UIS K 5629)は、下塗りに使用しないでください。
- 塩ビ鋼板の上の塗装は、避けてください。ただし、経年つやが引けているような塩ビ鋼板に対しては、変性エポキシ樹脂プライマーを下塗りに使用することで塗装できる場合があります。詳細は事前にご相談ください。
- 積雪の荷重を最も受けやすい軒先部分、瓦葺の凸部にこすり付けるように増し塗りを行ってください。
- 塗り替え後は、滑雪性がよくなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性がありますのでご注意ください。
- 16.無石スレート板に塗装すると反りやクラックが発生する可能性があります。
- 17.十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量を必ずおまもりください。
- 18.ごみ、ほこり、砂、油、樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。

乾燥時間			
塗装場所の気温	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	90分	40分	30分
塗り重ね乾燥	6時間以上	2時間以上	2時間以上

\*乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

### 用途

- 戸建住宅 ● 各種工場 ● 体育館 ● 公共施設 の屋根面

- さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去し、彫れ、割れの発生にも注意し、十分なケレンを行ってください。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや抜けやげし、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 異なる色相を塗り重ねる場合(例:1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを覆ってラインや帯などが変色(ブリード)による場合がありますのでご注意ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなう必要があります。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を傷め溶剤彫れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪の可能性がある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 25.塗装時および塗料の取り扱い時は、換気が十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 26.飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 27.薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 28.大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 29.はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- 30.ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 31.塗装方法により色相が多少変化するため、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 32.汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 33.塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落とすしてください。
- 34.ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 35.塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整剤では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかき混ぜてご使用ください。
- 36.開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 37.塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 38.製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 日本ペイント株式会社

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 北海道支店 ☎ 011-370-3101   | 近畿支店 ☎ 06-6455-9320 |
| 東北支店 ☎ 022-232-6711    | 中国支店 ☎ 082-281-2180 |
| 関東支店 ☎ 03-5479-3614    | 四国支店 ☎ 0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 | 九州支店 ☎ 092-751-9861 |
| 中部支店 ☎ 052-461-1960    |                     |

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2024 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-C116

AA240705T  
2024年7月現在